

北極評議会 (Arctic Council) の概要

外務省 令和4年2月

- 1996年9月19日、北極評議会(AC: Arctic Council)の設立に関する宣言(オタワ宣言)に基づき、米国をはじめとする北極圏国8か国によって設置されたハイレベル・フォーラム。ノルウェー・トロムソに事務局を設置。
- 北極における持続可能な開発、環境保護といった共通の課題について協力の促進等を目的とする。(オタワ宣言では、軍事・安全保障に関連する事項は扱わないこととされている。)
- ACは通常2年に一度会合(閣僚レベル)を行い、意思決定はメンバーによるコンセンサスで行われる。
- 我が国は2013年5月からACオブザーバー国であり、外務省北極担当大使等が閣僚会合、高級北極実務者会合に参加している。その他、各種専門家会合等には、我が国研究機関から専門家が出席している。
- 我が国として、北極に関する国際的な意思決定やルール策定に適切に関与していく観点から、我が国の強みである科学的知見や科学技術を活用し、ACの活動に対する貢献を強化していく。



ARCTIC COUNCIL

北極評議会

メンバー国(北極圏国)(8)

ロシア **現議長国**
(任期:2021年5月~2023年(2年間))
ノルウェー
デンマーク
スウェーデン
カナダ
米国
フィンランド
アイスランド(議長国は輪番制)

常時参加者(6)

アリュート国際協会(AIA)
北極圏アサバスカ評議会(AAC)
グイッチン国際評議会
イヌイット極域評議会(ICC)
ロシア北方民族協会(RAIPON)
サーミ評議会

オブザーバー

(ACの活動に貢献するとACが決定するもの。)

国(非北極圏国)(13)
仏、独、西、蘭、ポーランド、英、**日本**
中国、インド、イタリア、シンガポール、韓国、スイス

政府間・議員間組織(13)
(国連開発計画(UNDP)、国連環境計画(UNEP)、国際海事機関(IMO)等)

NGO(12)
(北方評議会(Northern Forum)、WWF等)